

海外展開セミナー inグレーター・ナゴヤ

成長が見込まれる**医療機器関連産業に**

ビジネスチャンスあり！

200名様限定 参加費無料

中小企業の海外展開と国内投資の一層の拡大を図るため中部地域においては、中部経済産業局をはじめ関係機関による「中部国際拠点化支援会議」を開催しています。この度医療分野において、海外展開を考えている企業の皆様向けに「海外展開セミナーinグレーター・ナゴヤ」を開催します。本セミナーでは、先駆的に海外展開を進めているリーディングカンパニーの取組みのご紹介をはじめ、医療機器産業における海外展開の必要性及び市場動向、知的財産権に係る対応方策等を取り上げます。

第1部 13:35~14:35

【メニコンスタンダードの世界市場への挑戦】



株式会社メニコン 取締役代表執行役社長 田中英成 氏

愛知医科大学医学部医学科卒業。日本初の角膜コンタクトレンズを開発したメニコン創業者、田中恭一の長男。眼科医として病院勤務、眼科医院開業を経て、1994年に取締役、2000年に社長就任。世界初30日連続装用酸素透過性ハードコンタクトレンズ「メニコンティニュー」、国産初のシリコンハイドロゲル「2WEEK プレミオ」などの高付加価値製品を続々と発表すると共に、業界内世界初の定額制会員制販売システムとして発案した「メルスプラン」は、現在97万人の会員を擁する規模となり、事業基盤を安定させた。また、日本クラブユースサッカー東西対抗戦（U-15）「メニコンカップ」や「メニコンスーパーコンサート」への特別協賛等、スポーツ文化支援活動にも積極的に取り組んでいる。さらに、日本コンタクトレンズ協会会長を務め眼科医療機器業界をリードすると共に、シンガポール共和国在名古屋名誉総領事として国際親善にも貢献している。

第2部 14:35~15:35

【光技術を活用した医療機器の開発と事業化 — 大学が果たせる役割 —】



浜松医科大学 産学官共同研究センター長、メディカルフォトンクス研究センター 教授 山本清二 氏

1980年浜松医科大学卒業、医学博士、脳神経外科専門医。85年焼津市立総合病院脳神経外科科長、88年浜松医科大学附属病院助手、2000年浜松医科大学光量子医学研究センター准教授、2012年現職。神経科学領域の基礎研究と共に、光技術を応用した研究の経験と臨床医であるというバックグラウンドを生かし、先端医療開発特区（スーパー特区）に採択され医療機器を開発中。2010年に「世界初の機能を持つ内視鏡手術ナビゲータの開発」テーマで、「第5回モノづくり連携大賞（中小企業部門賞）」に受賞された浜松医科大学をはじめとする産学官連携グループの研究代表者。産学官共同研究センターでは同学知財活用推進本部との協働により、大学内外における産学連携・医工連携の「ワンストップ窓口」として、医療機器の開発・事業化の支援から、薬事規制の相談、医療ニーズの収集、医工連携のマッチングまで幅広く対応。

第3部 15:45~16:45

【世界の医療機器ビジネスの現状について—拡大する新興市場、重要な先進市場—】



独立行政法人日本貿易振興機構 海外調査部北米課課長代理 桜内政大 氏

宮城県仙台市出身。東北大学文学部卒業。現在、日本貿易振興機構（ジェトロ）海外調査部北米課 課長代理。ジェトロ入会後、輸入促進部、総務部で勤務。米国ワシントンDCの戦略国際問題研究所（CSIS）客員研究員（2004~06年）、内閣官房「美しい国づくり」推進室 参事官補佐（2007年）などを経て、2008年4月から現職。調査テーマは米国の経済・通商・産業政策、世界の医療機器市場と規制動向など。最近では2012年11月の米大統領・議会選挙結果を受けた2013年の米国の政策動向を調査。医療機器に関しては2010年度以降、海外市場開拓などをテーマとする政府および関係機関の各種委員会などに参加。

日時：**平成25年2月1日（金） 13:30~16:50**

場所：**名古屋商工会議所 2階 大会議室**

主催：**経済産業省中部経済産業局、中部国際拠点化支援会議**

